

自己評価・外部評価 評価表(別紙1)

事業所名: ハッピー愛ランド24時間訪問介護看護ステーション  
 担当者名: 丹治 健介

| タイトル<br>番号                         | タイトル                              | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                 |                  | コメント  | 外部評価<br>コメント  |
|------------------------------------|-----------------------------------|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|---|---|
|                                    |                                   |          |   | 実施状況      |                 |                 |                  |   |   |
|                                    |                                   |          |   | できて<br>いる | ほぼ<br>できて<br>いる | できていない<br>ことが多い | 全く<br>できて<br>いない |   |   |
| <b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b> |                                   |          |   |           |                 |                 |                  |   |   |
| <b>(1) 理念の明確化</b>                  |                                   |          |   |           |                 |                 |                  |   |   |
| ①                                  | サービスの特徴を踏<br>まえた理念の明確化            | 1        | 当該サービスの特徴である「利用者<br>等の在宅生活の継続」と「心身の機<br>能の維持回復」を実現するため、事<br>業所独自の理念を掲げている                                   | ○         |                 |                 |                  | 「一人一人の個性・人格を大切<br>にし共に生きる喜びを分かち<br>合います」という理念のもと事<br>業を行っていた。 | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。                                       |
| <b>(2) 適正な人材の育成</b>                |                                   |          |   |           |                 |                 |                  |   |   |
| ①                                  | 専門技術の向上のた<br>めの取り組み               | 2        | 管理者と職員は、当該サービスの特<br>徴および事業所の理念につい<br>て、その内容を十分に認識している   | ○         |                 |                 |                  | 会議などで定期的に確認を行<br>い、認識を深めていた。                                  | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。                                       |
|                                    |                                   | 3        | 運営者は、専門技術(アセスメント、<br>随時対応時のオペレーターの判断<br>能力など)の向上のため、職員を育<br>成するための具体的な仕組みの構<br>築や、法人内外の研修を受ける機<br>会等を確保している | ○         |                 |                 |                  | 外部研修やweb研修を活用し<br>ながら計画的に研修を行って<br>いた。                        | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。                                       |
|                                    |                                   | 4        | 管理者は、サービス提供時の職員<br>の配置等を検討する際、職員の能<br>力が最大限に発揮され、能力開発<br>が促されるよう配慮している                                      |           | ○               |                 |                  | シフトの時間の調整や訪問ス<br>ケジュールの調整をし、特定の<br>職員に負担が偏らないよう努め<br>た。       | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。                                       |
| ②                                  | 介護職・看護職間の<br>相互理解を深めるた<br>めの機会の確保 | 5        | 介護職・看護職の間で、利用者等<br>の特性・状況に係る相互の理解・認<br>識の共有のための機会が、十分に<br>確保されている   | ○         |                 |                 |                  | 会議の場を設けるだけでなく<br>ICT機器を活用しながら情報共<br>有を行っていた。                  | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>訪問看護からはICT等を活用し引<br>き続き連携の強化を図っていきた<br>いのご意見があった。 |
| <b>(3) 適切な組織体制の構築</b>              |                                   |          |   |           |                 |                 |                  |   |   |

| タイトル<br>番号                     | タイトル                                     | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                 |                  | コメント  | 外部評価<br>コメント   |
|--------------------------------|--|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|---|--|
|                                |  |          |   | 実施状況      |                 |                 |                  |   |  |
|                                |  |          |   | できて<br>いる | ほぼ<br>できて<br>いる | できていない<br>ことが多い | 全く<br>できて<br>いない |   |  |
| ①                              | 組織マネジメントの取<br>り組み                        | 6        | 利用者等の特性に応じた柔軟な<br>サービスを提供するため、最適且<br>つ柔軟な人材配置(業務・シフトの<br>工夫)を行っている                                    |           | ○               |                 |                  | 利用者のニーズに沿えるようシ<br>フトの時間の変更や職員の配<br>置をし、対応に努めていた。  | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。  |
| ②                              | 介護・医療連携推進<br>会議で得られた意見<br>等の適切な反映        | 7        | 介護・医療連携推進会議を適時適<br>切に開催すると共に、得られた要<br>望、助言等(サービスの過少供給に<br>対する指摘、改善策の提案等)を、<br>サービスの提供等に適切に反映さ<br>せている | ○         |                 |                 |                  | 新型コロナウイルス感染症予<br>防の為令和4年度においては書<br>面にて報告し、意見をいた<br>だくという形を取っていた。<br>介護事故や感染症対応に関し<br>て専門職からの意見をいた<br>だき、サービスに反映するよう<br>努めた。 | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面<br>にて介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>介護事故への対応に関し、発生件<br>数が減少したこと、利用者の安全<br>を守られたことは大変素晴らしい。<br>新型コロナウイルスへの対応につ<br>いて苦労されたかと思うが、訪問<br>看護としても学びになった。とご<br>意見をいただいた。 |
| <b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>  |  |          |   |           |                 |                 |                  |   |  |
| ①                              | 利用者等の状況に係<br>る情報の随時更新・<br>共有のための環境整<br>備 | 8        | 利用者等の状況について、(個人<br>情報管理に配慮した上で)必要に<br>応じて関係者間で迅速に共有でき<br>るよう工夫されている                                   | ○         |                 |                 |                  | 訪問介護員一人一人がしっか<br>り報連相や申し送りをできるよう<br>指導を行い、書面やICT機器<br>を活用しながら情報共有を<br>行っていた。  | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。  |
| <b>(5) 安全管理の徹底</b>             |  |          |   |           |                 |                 |                  |   |  |
| ①                              | 職員の安全管理                                  | 9        | サービス提供に係る職員の安全確<br>保や災害時の緊急体制の構築等<br>のため、事業所においてその具体<br>的な対策が講じられている(交通安<br>全、夜間訪問時の防犯対策、災害<br>時対応等)  | ○         |                 |                 |                  | 緊急時の対応についてマニユ<br>アルを作成、訓練を定期的<br>に行っていた。<br>BCPについても作成を進めて<br>いる。   | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。  |
| ②                              | 利用者等の個人情報<br>の保護                         | 10       | 事業所において、利用者等に係る<br>個人情報の適切な取り扱いと保護<br>についての具体的な工夫が講じら<br>れているとともに、管理者や職員に<br>おいて共有されている               | ○         |                 |                 |                  | 個人情報の取り扱いについて<br>研修を実施し、適切な取扱い<br>に努めていた。   | 新型コロナウイルス感染症予防の<br>為、令和4年度においては書面に<br>て介護・医療連携推進会議を開催<br>した。<br>特にご意見はなかった。  |
| <b>II 過程評価(Process)</b>        |  |          |   |           |                 |                 |                  |   |  |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供    |  |          |   |           |                 |                 |                  |   |  |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 |  |          |   |           |                 |                 |                  |   |  |

| タイトル<br>番号                          | タイトル  | 項目<br>番号 | 項目   | 自己評価      |                 |                 |                  | コメント  | 外部評価<br>コメント  |
|-------------------------------------|---|----------|--|-----------|-----------------|-----------------|------------------|---|---|
|                                     |   |          |  | 実施状況      |                 |                 |                  |   |   |
|                                     |   |          |  | できて<br>いる | ほぼ<br>できて<br>いる | できていない<br>ことが多い | 全く<br>できて<br>いない |   |   |
| ①                                   | 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施      | 11       | 利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている  | ○         |                 |                 |                  | 計画作成責任者を中心に職員全体で情報を確認しながらアセスメントを行っていた。                          | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
|                                     |   | 12       | 介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている  | ○         |                 |                 |                  | 訪問看護ステーションが訪問にて情報の確認をし、また自事業所と情報のやり取りを行いながらアセスメントを行っていた。        | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| ②                                   | 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成    | 13       | 利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている  | ○         |                 |                 |                  | アセスメントを定期的を実施することで利用者の現状に沿った計画の作成を行っていた。                        | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| ③                                   | 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成    | 14       | 重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている     | ○         |                 |                 |                  | ケアマネージャー、訪問看護ステーション等関係職種と情報や課題の共有を行い、介護度などが悪化しないよう適切な計画の作成に努めた。 | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| <b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>  |   |          |  |           |                 |                 |                  |   |   |
| ①                                   | 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供 | 15       | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている | ○         |                 |                 |                  | 直近の情報をもとにオペレーターが判断し訪問介護員に指示を出すことで、柔軟に訪問を行っていた。                  | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| ②                                   | 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映        | 16       | サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている                             | ○         |                 |                 |                  | 継続的、計画的なモニタリングを実施、ケアマネとも共有しながら計画の作成を行った。                        | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| <b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b> |   |          |  |           |                 |                 |                  |   |   |
| ①                                   | 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供                 | 17       | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている                             | ○         |                 |                 |                  | 業務分掌を活用し、役割分担を行っていた。  | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |

| タイトル<br>番号                        | タイトル  | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                 |                  | コメント   | 外部評価<br>コメント  |
|-----------------------------------|---|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|---|
|                                   |   |          |   | 実施状況      |                 |                 |                  |  |   |
|                                   |   |          |   | できて<br>いる | ほぼ<br>できて<br>いる | できていない<br>ことが多い | 全く<br>できて<br>いない |  |   |
| ②                                 | 看護職によるサービス提供に関する指導、助言                           | 18       | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている   | ○         |                 |                 |                  | 適宜、連携している訪問看護ステーションから助言、指導をもらっていた。感染症対応について勉強会も実施してもらった。 | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。特にご意見はなかった。 |
| <b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>        |   |          |   |           |                 |                 |                  |  |   |
| ①                                 | 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供              | 19       | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | ○         |                 |                 |                  | 契約書、重要事項説明書を利用者やご家族と一緒に読み合わせ、説明を行った後利用開始を行っている。          | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。特にご意見はなかった。 |
| ②                                 | 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供                     | 20       | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている   | ○         |                 |                 |                  | 計画の作成、更新を行った際に利用者やご家族に説明、同意を得ている。                        | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。特にご意見はなかった。 |
|                                   |   | 21       | 利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている   | ○         |                 |                 |                  | 訪問時、電話連絡等にてご家族へ情報共有を行っている。                               | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。特にご意見はなかった。 |
| <b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b> |   |          |   |           |                 |                 |                  |  |   |
| <b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>          |   |          |   |           |                 |                 |                  |  |   |
| ①                                 | 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22       | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている   | ○         |                 |                 |                  | モニタリングの結果報告や状態の変化などケアマネジャーと適宜情報の共有を行っている。                | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。特にご意見はなかった。 |
|                                   |   | 23       | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている   | ○         |                 |                 |                  | 計画作成責任者より、ケアマネジャーやご家族へ現状で必要なサービス等を提案している。                | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。特にご意見はなかった。 |

| タイトル<br>番号                              | タイトル   | 項目<br>番号 | 項目   | 自己評価      |                 |                 |                  | コメント   | 外部評価<br>コメント  |
|---|--|----------|--|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|---|
|   |  |          |  | 実施状況      |                 |                 |                  |  |   |
|   |  |          |  | できて<br>いる | ほぼ<br>できて<br>いる | できていない<br>ことが多い | 全く<br>できて<br>いない |  |   |
| ②                                       | 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供          | 24       | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている  | ○         |                 |                 |                  | サービス担当者会議や感染拡大時は照会にて、ケアマネ、デイ、訪看など関係事業所と情報の提供、共有を行っていた。                                   | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| <b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>   |  |          |  |           |                 |                 |                  |  |   |
| ①                                       | 利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25       | 利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)          | ○         |                 |                 |                  | 担当者会議などを通して関係事業所とともに検討を行っている。  | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
|   |  | 26       | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目) | ○         |                 |                 |                  | 入院時や施設入居時などには利用状況、利用者の状態等について書面や口頭で情報共有を行い、逆に退院時利用開始される際には関係事業所と情報共有や必要なサービス内容の検討を行っている。 | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| ②                                       | 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案      | 27       | 地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)          | ○         |                 |                 |                  | サービス担当者会議などを通して、関係事業所間での役割分担について共有を行っている。  | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| <b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>          |  |          |  |           |                 |                 |                  |  |   |
| <b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>             |  |          |  |           |                 |                 |                  |  |   |
| ①                                       | 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信    | 28       | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている   | ○         |                 |                 |                  | 会議内容をファイリングし閲覧できるようにしている。  | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
|   |  | 29       | 当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている   | ○         |                 |                 |                  | 居宅や病院の相談室へ営業活動を行っている。  | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。 |
| <b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b> |  |          |  |           |                 |                 |                  |  |   |

| タイトル<br>番号      | タイトル                               | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                 |                  | コメント  | 外部評価<br>コメント  |
|-----------------|------------------------------------|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|---|---|
|                 |                                    |          |   | 実施状況      |                 |                 |                  |   |   |
|                 |                                    |          |   | できて<br>いる | ほぼ<br>できて<br>いる | できていない<br>ことが多い | 全く<br>できて<br>いない |   |   |
| ①               | 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解         | 30       | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している  | ○         |                 |                 |                  | 地域包括ケアシステムで担うべき役割を理解し、事業を行っている。                   | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。                             |
| ②               | サービス提供における、地域への展開                  | 31       | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている  | ○         |                 |                 |                  | 北信西地域を中心に訪問可能なエリアについては要望があった際には可能な限り利用受け入れを行っている。 | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。                             |
| ③               | 安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等 | 32       | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている<br>(※任意評価項目) | ○         |                 |                 |                  | 保険外サービスとして必要時通院同行(院内介助)を行っている。                    | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。                             |
| Ⅲ 結果評価(Outcome) |                                    |          |   |           |                 |                 |                  |   |   |
| ①               | サービス導入後の利用者の変化                     | 33       | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている   | ○         |                 |                 |                  | 利用者の自立に向けた計画を作成し、それを元に支援を行っている。                   | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>特にご意見はなかった。                             |
| ②               | 在宅生活の継続に対する安心感                     | 34       | サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている   | ○         |                 |                 |                  | サービスを通し利用者が安心して生活できるよう努めている。                      | 新型コロナウイルス感染症予防の為、令和4年度においては書面にて介護・医療連携推進会議を開催した。<br>利用者が安心して生活できるよう努められていたと思いますとのご意見をいただいた。 |